



お お し ま う き ち

大島 宇吉



現在の「中日新聞」は「新愛知」と「名古屋新聞」との合併によるものであるが、その「新愛知」の創始者が、大島宇吉である。

嘉永5年（1852）小幡に生まれ、若い頃は自由民権運動の指導者の一人として活躍した。題字のない無題号の新聞を発行するが、度重なる政府の弾圧、発行停止処分を受け廃刊。その後も新聞名を変え明治21年（1888）に「新愛知」新聞創刊に至る。人生の大半を新聞事業に邁進したが、農産業の振興や航空事業の発展にも功績を残した。

《略歴》

- 1852（嘉永5） 東春日井郡小幡村に生まれる
- 1871（明治4） 漢学者、とみなが ばいせつ富永梅雪の門に入る
- 1884（明治17） 33歳、愛知県会議員に当選
- 1886（明治19） むたいごう無題号新聞を発行。翌年「えいり愛知絵入新聞」（日刊）として創刊
- 1888（明治21） 愛知絵入新聞を「新愛知」を創刊
- 1890（明治23） 新愛知新聞社社長に就任
- 1918（大正7） 衆議院議員となる
- 1940（昭和15） 89歳で死去、長慶寺（守山区）に眠る

《参考図書リスト》

- 『大島宇吉翁伝』 関豊作／著 1932
- 『愛知に輝く人々2』 中部の新聞王—大島宇吉 愛知県小中学校長会／編 1981 P86-93
- 『郷土に輝く人々4』 信念をつらぬいた五十年〈大島宇吉〉 愛知県小中学校長会／編集 1971 P102-109
- 『もりやま 第7号』 大島宇吉と自由民権運動 守山郷土史研究会／編 1988 P109-116
- 『小幡 開校四十周年記念』 名古屋市立小幡小学校／編 1990 P101-102
- 『守山市史』 守山市／編 1963 P591-593
- 『中日新聞社の120年』 中日新聞社社長室社史編さん室／編 2006 P26-27
- 『中日新聞三十年史』 中日新聞社30年史編さん委員会／編 1972 P20-23
- 『反骨のペン・桐生悠々』 むのたけじ／著 製作年不明

新愛知新聞
あれこれ

新愛知新聞社を親会社としてプロ野球球団「名古屋軍」が昭和11年に発足、現在の中日ドラゴンズとなる。

大正3年、新愛知には不屈のジャーナリストといわれた桐生悠々(きりゆうゆう)が主筆として入社しペンをとっているが、彼もまた守山区の出身である。